


ふりがな 氏名	くまさか まさき 熊坂 真輝	都道府県	千葉県	
所属/肩書	特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド			
私のESD活動	所属する NGO で「飢餓」という問題に対して「食」を切り口に学生たちと活動しています			
ESD活動を表すキーワード	食	青少年	人権	

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私が所属する団体は飢餓のない世界を創るために活動している国際協力 NGO です。活動の1つとして、学校を対象とした活動としてお手紙コンテスト「いただきます」と「ごちそうさま」をありがとうを開催しました。「子どもたちにもっと『食』の大切さを実感してもらいたい」「世界の飢餓について、自分の暮らしとのつながりから考えてほしい」という想いで、自分の食を支えてくれる人に感謝の想いを綴るメッセージカードをHFWが作成し、それを授業で使ってもらおうという取り組みを行いました。年度末の時期に実施したため、家庭科や社会科、総合のまとめとして学年単位で活用していただき、結果として、17の学校や団体から1040通の応募があり、多くの学生に食の大切さを考えてもらうことができました。

他にも当団体の青少年組織が10月にサルベージ・パーティ形式のハロウィンイベントの開催をサポートしました。サルベージ・パーティとは家にある余った食材を持ち寄り、それをその場でプロのシェフが料理するイベントです。去年は若者の間でハロウィンが人気であったことから、ハロウィンを切り口に食や飢餓を考えてもらうイベント開催。当日は仮装やプロの料理を楽しみつつ、「食」について考えてもらうようなワークショップを学生たちが実施しました。通常、飢餓や食料問題をテーマとしたイベントを開催すると、すでにそういった問題について関心を持っている人が多く参加していました。しかし、ハロウィンのように変わった切り口を用いたことで、それまであまり飢餓や食に関心の持ていなかった若者も参加し、約60名の若者が飢餓や食について意見を交わすことができました。

・お手紙コンテスト「いただきます」と「ごちそうさま」をありがとう http://www.hungerfree.net/special/topi_12.html

・ハロウィンパーティの記事 <http://youthendinghunger.net/japan/?p=124>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？

今後、当団体で作成した「食」を考えるメッセージカード形式のワークショップ教材を中心に、学校のカリキュラムに沿ったタイミングで活用してもらえるような取り組みを行っていきたいと考えております。お手紙コンテストは、家庭科や社会の授業の中で、それまでの授業のまとめとして活用していただきました。しかし「メッセージカード」形式でありながら、誰かに渡すところまでの流れが十分にデザインされておらず、広がりや課題がありました。そのため今後は、母の日などの記念日や夏休みの宿題などの機会を利用し、教材を使って生徒が学んだことが多くの人に届くように、より「メッセージカード」らしい形で教材を活用していただけるような機会を提供していきたいと考えています。